

このニュースは、NPO 日本文化体験交流塾の活動にご興味をお持ちになった方にお送りしていますが、不要の方は返信メールにてご連絡ください。

第 1. 新着ニュース

◆ 1. ☆★ 「文化講演会・英語落語・まち歩き・夕食会」 プログラム追加 ★★

「通訳ガイド基礎力アップのための研修」

京都で大地震とともに火災が生じたら、貴重な文化遺産は焼失してしまう危険性があります。前ユネスコ事務局長の松浦氏がたちあげた、明日の京都 文化遺産プラットフォームの副会長である土岐憲三氏による講演『文化遺産を災害から守る』を是非聞きに来て下さい！

14:00~16:30 (質疑応答こみ) の講演の後、16:30~17:00 で英語落語 (英楽亭 Toyo さん) 公演をして頂けることになりました。そのため、ウォークは 17 時半~19 時、夕食会は 19 時~20 時半 (を予定) となります。当初、ビアパーティを予定していましたが、お酒を飲まない人が多いということで、夕食+ワンドリンクと変更しました。レストランは当初の予定通りキエフ (四条大橋東詰のロシア料理屋) です。

<http://www.restaurant-kiev.com/> 新しい会員も増えて、関西支部は 90 名になりました。是非友人を作りましょう！

※土岐憲三氏のプロフィール

現在、立命館大学教授、立命館大学歴史都市防災研究センター長、西日本高速道路監査役、明日の京都文化遺産プラットフォーム副会長。 京都大学教授、東京大学教授、京都大学総長補佐等歴任。

お申込みと詳細は [こちらから](#)

第 2 その他情報

1. IJCEE 研修関係

◆ 1. □■ 9 月 4 日 「「庵の能体験教室」研修 募集中 ■□

催行決定。参加申込受付中 (締切: 7 月 30 日)

詳細・及び申込先は [こちらです](#)。

体験型研修です。講師は、金剛流シテ方能楽師 宇高 竜成氏 (うだか たつしげ)

<http://www.tatsushige3.com/17.html>

申込・問合せ→kimiko.nakatsuka@gmail.com (090-6203 - 4380 中塚)



◆ 2. □■9月8日 「東大寺研修」**定員を増やしました！！** ■□

定員を10名増やしたため、あと数席あります(締切:7月30日)。

詳細・及び申込先は[こちらです](#)。

午前に裏先生のお話を聞き、午後は広く豊かな東大寺境内を回ります。通常非公開の諸堂等に入りますから、貴重な経験になること請け合いです！

申込・問合せ→kimiko.nakatsuka@gmail.com (090-6203 - 4380 中塚)



◆ 3. □■ 7月12日～13日「直島研修」研修報告 ■□

直島研修を振り返って、国の内外を問わず人々を惹きつける要因はなんだろうか、また、理屈抜きの芸術鑑賞として自分の中でどのように折り合ったのか等をご紹介できたらと思います。

客観的にご紹介するために私が属した C 班のみなさんとの意見交換を基調として進めていきます。

今回は、畝崎講師、上原さんのご指導の下、3 班に分け、見学も予め与えられた課題に沿った議論も各班で深めていきました。芸術を語るのに理屈はいらないと常々思っていました、今回は皆さんの熱く語る印象・衝撃・パッション・理論などをお伺いすることによってさらに深く芸術にかかわることができたと思います。

《直島の人気の秘密》

1. 安藤忠雄という世界的に有名な icon 主導であった。

世界中から建築・芸術のプロを集め、それぞれが帰国した後に発信する情報量は膨大なものになり自然と宣伝効果が上がる。

彼がトップでかかわっていくと自然と統一感が生まれてくる。

2. 福武総一郎のぶれないモットー

Benesse=よく生きる

自然や美術、建築との共生、また、人々の生活の営みと歴史という時間の厚み、新しい概念である現代アートを融合させるにも核となっている信条は「よく生きる」ということであり、核がしっかりしていると自然と統一感が生まれてくるものである。

3. 瀬戸内海の島という風光明媚な場所

瀬戸内海は国立公園として日本で最初に指定された。その自然の美しさ、吹き渡る風、潮の香りを感じながら、昔ながらの路地を曲がるごとに新たな風景が展開していく。神が作ってくださった壮大なアートです。何と言っても、気分が良いのです。その浮き立った心で見ると、楽しむ、感じるアートはこれ以上の贅沢はないでしょう。

《楽しむための成り立ち》

大きく分けて2つになります。

1. 本村

古く壊れかけた家、使い道のなくなった家、傾きかけていた神社、新しく建てられたたまさしく現代アートの建物、展示物などが小さな部落に点在しています。

壊れかけたり、住む人のなくなった家。鎮守の森の奥にひっそりと時を経て人々のよりどころとなってきたけれど、経年劣化にはお金と技術が必要で打開策の見つ

からなかった神社。そのような建物が再び命を与えられて後世につながっていく。アートという意味を帯び、メッセージを携え新たな使命を担っていく。

まさしく、自然と時間と人間との共生となっていくわけです。輪廻転生ともいえるのではないのでしょうか。

祠は小さいながら、現代の水晶と言われる立派な特殊ガラスでできた階段が正面にそそり立ち、その階段は神々しく神秘的に輝いておりました。裏に回ると階段の下に入っ
て行けます。

そんな新旧が混在している建物と現代アートが繰り広げられる新しく建てられた建物が点在しています。

目の錯覚・意識で見える世界の違いなど常識が目の前で崩れていく体験なども出来
ます。

家自体がアートであり、中身も概念をあざ笑うかのような仕掛けがある…そして、それをつなぐ道は島の道なのです。

2. ベネッセアートサイト

本村とは別の場所にベネッセ王国(筆者作)があります。アップダウンの山道が続き眼下には海。歩いていると、道のわきにオブジェが圧倒的な大きさに迫ってくる。または、原色のかわいらしい動物たちのスタチューが並ぶ。

美術館も何個もあります。代表的なのはベネッセハウスミュージアムと地中美術館でしょうか。美術館の概念を取り払われます。

どの部屋も展示替えのないのがルール。ということは、アーティストは自分の空間を贅沢に与えられそこで自由に自分を解放する。アーティストありきの美術館です。

二間続くただっ広い空間にモネの絵は3枚。タイルの上に座ってみます。

飾られた絵の対岸に同じようなボートが置かれている。単なる偶然ではないのです。シンメトリーという超自然的な趣向を凝らすことでパワーを作り上げる。これは美術館のみならず本村の家プロジェクトにも随所に見られます。

白と信じていたものが補色の青を持ってくることでオレンジにしか見られなくなる。。。今、目に映っている物の色は全く違うものかもしれない。常識が覆される瞬間。いやですよ。愉快でもありますが…

と、今、印象に残っている物を独断と偏見によってご紹介しました。行きたくなりました？

問題点も上げないといけませんね。

1. 交通の便

私たちの研修では、汗だくで何往復も何往復も分刻みで奮闘してくださった米原大介さんが活躍してくださいました。彼なしには、この旅はあり得ませんでした。

この場をお借りして改めてお礼を申し上げます。自信を持って満場一致の感謝です。

[高取和代 記]

《補記》

今回の研修で新しい試みとして、参加者をグループ別に分け、グループディスカッションを2日間実施しました。現代アートの「インスタレーション」の技法のなせる業か、造形空間に身を置くと人の気持ちを変化させるのでしょうか、高取さんの記述のように”浮き立った心“で、素晴らしい語らいの場となりました。

現代アートは“みる”ものでなく“感じる”ことが大事といわれます。いくつかの展示館で、私自身は、「光」が空間を占め、物質のように存在しているかのように感じました。

終了後、参加者の皆様から多くのメールを頂きました。その中から、一部をご紹介します。

「直島では、大変お世話になりました。お陰様で、これ以上望めないような、とても実りある研修を受けることが出来ました。下見を含め、ご準備が大変だったとお察しいたします。大変ありがとうございました。今回は、参加者の方々の感性豊かな洞察力にも感銘し、刺激を受けました。ああいう話し合いの場を持って、とても良かったと思いました。」(M. H)

“Although the artists’ messages are not always easy to decipher, the participants might rediscover something which is lost in the whirl of life in a city, exercising their rich imagination.” (IJCEE KYOTO の FB より)

[上原 記]

3. 関西でのイベント・研修情報

◆ 8月1日～31日 海洋堂フィギュアワールド 美術館「えき」KYOTO、800円
<http://www.kaiyodo.co.jp/>

◆ 8月9日(土) ①午後1時から ②午後4時から 各回45分、美術館「えき」KYOTO
“センム” こと海洋堂・宮脇社長ギャラリートーク
・マイクを使用し、館内を移動しながら解説。
・参加申込不要。参加費無料。但し美術館入場料は必要。

・混雑した場合は入場制限をすることもあり。

◆ 7月19日～9月15日奈良国立博物館『醍醐寺のすべて』

<http://daigoji.exhn.jp/>

http://www.narahaku.go.jp/exhibition/2014toku/daigoji/daigoji_index.html

◆ 7月19日～9月15日 「大阪平野はむかし海だった ～海に生きたおおさかの古代人」、大阪府立近つ飛鳥博物館、400円、月休

<http://www.chikatsu-asuka.jp/?s=exhibition/special>

大阪平野はそのむかし、縄文時代には海でした。この河内湾と呼ばれる海は、やがて湖となり、さらに平野へと姿を変えていきました。この特色ある環境の中で生きた人々について考えることをきっかけに、海からおおさかの古代にせまります。弥生時代や古墳時代、海にのぞむおおさかでは、魚やタコをとり、海水から塩をつくることは、コメづくりとならび重要でした。また、新しい文化をもたらした渡来人の多くが、船でおおさかの地へやって来るなど、海は交通路としてもよく使われました。海に生きた、おおさかの古代人の知恵を出土品からさぐります。



イイダコ壺！

◆ 神戸市立博物館常設展示 (小学生・中学生 100円、高校生・大学生 150円、一般 200円)、月休

神戸の旧居留地の旧横浜正金銀行ビル(昭和10年建築)を利用した博物館で、特別展以外に、常設展があります。旧居留地の歴史を学びたい方は是非どうぞ！

<http://www.city.kobe.lg.jp/culture/culture/institution/museum/joten/index.html>



明治初期から30年代の資料をもとに
復元された神戸旧居留地の復元模型（1/200）



旧居留地の復元模型は、明治期のもの（手前）と
昭和前期のもの（奥）の2種類が展示されています

<http://www.city.kobe.lg.jp/culture/culture/institution/museum/joten/j5.html>

- ◆ 広樹園・京都の東寺近くにある小品盆栽を扱っている所（東寺西門から700m。住宅街の中にあります。京都駅から市バスで八条中学下車。徒歩2分。但し、バスは1時間に2本しかありません。）



<http://www.bonsainavi.com/detail/67/>

- ◆ 大栄商店・・・伏見稻荷の門前で伏見の酒を試飲できる酒屋

日本酒 3 種類で 750 円、それ以外に珈琲やかき氷等あります。
地図→<http://www.navitime.co.jp/poi?spt=00011.060119245>

- ◆ 其礼成心中・・・三谷文楽 in 京都 8月7日～17日、京都劇場、8000円、問合
06 - 7732 - 8888 (10時～19時)

三谷幸喜による曾根崎心中のパロディ。耳で聞いて 100%内容がわかる。新しい文楽の可能性！

内容→<http://www.nikkei.com/article/DGXBZ044969240U2A810C1000002/>

- ◆ 大坂夏の陣屏風の作者について・・・北川央氏
<http://wave.sankei-kansai.com/2014/07/post-232.php>

- ◆ 8月28日(木) 13:00～14:30 大阪城天守閣講座(2) 夏の展示「戦争と平和」の解説、跡部信氏(大阪城天守閣主任学芸員)、2000円、募集締切7月31日、産経ウェイブ

大阪城天守閣(大阪市中区)で、夏の展示「戦争と平和」展(3階)が開催中です。100年以上も続いた戦国時代には、全国各地で無数の合戦が起こりました。鉄砲が導入され、よろいは進化し、戦いの技術が向上しました。いっぽう合戦を終わらせるための、和平の技術が磨かれたのもこの時代です。

大阪城天守閣主任学芸員の跡部信さんに、合戦と和平の戦国史を、「城の破壊を命じた秀吉の朱印状」(大阪城天守閣蔵)などの収蔵資料をとおして解説していただき、終了後常設展を見学します。

詳細・応募方法は→ <http://wave.sankei-kansai.com/2014/07/post-331.php>

- ◆ 外国人に人気の日本のスポット 2014

1位は伏見稻荷です！

http://www.tripadvisor.jp/pages/InboundAttraction_2014.html

- ◆ 大自然のプール 14選

http://www.tripadvisor.jp/TripNews-a_ctr.naturalswimmingpoolsJP

※メールニュースの転送・転載はご自由にどうぞ。

NPO 法人日本文化体験交流塾 理事 関西支部長

兼 True Japan Tour 株式会社 取締役 関西担当 上原 護

Address : uehara.ijcee@gmail.com

Phone: 080-5646-1100

facebook: IJCEEKYOTO, IJCEE 関西
